

法能トンネル建設構想

谷村本町と法能地区を結ぶトンネル建設につきましては、諸般の事情により実現が遅れ長い間の懸案事業となっております。

二十一世紀を目前に控え社会情勢の変化を判断するとき早急に対応してまいらねばならないと考えております。

県道都留道志線の交通量の増大に伴う都留第一中学校生徒の通学

路問題、谷村本町商店街の活性化等トンネルに寄せる期待は大変大きなものがあります。

このことから新年度に調査費を計上するとともに、県の指導を仰ぎながら早期に実現できるように鋭意努力してまいります。

21世紀に向けて 躍進する都留市



山梨リニアモーターカー実験線建設と都市基盤の整備

一昨年ルート決定された山梨リニアモーターカー実験線は、関係地域の皆さんにご理解、ご協力をお願いしてまいりましたが、昨年十月九鬼トンネル東工区で着工されました。

この実験線を将来リニア中央エクスプレス構想へと発展させるため、東京・大阪間の関係九都府県が連携し、早期実現に向けて強力な運動を展開しています。

本市も、このリニア中央エクスプレス構想の中で駅の設置を国・県等に強力に働きかけております。これは来るべき二十一世紀に本市が飛躍的に発展するための礎であり、このためにも全市をあげて実験線建設に協力し、是非とも実現しなければならぬ最重要課題の一つであります。

このリニア実験線建設など社会情勢の変化を的確に把握し、今後急速な都市化を予想し、現在遅れている都市的機能をさらに発展させなければなりません。このため、将来に向けての理想的なまちづくりの指針となる都市整備基本計画（マスタープラン）の策定を急いでいるところであります。

さらに本市の交通体系の課題であります中央道都留インターチェンジのフルインター化は、具体的にどの場所が適地であるかを検討するため昨年基本構想策定作業に

入り、早期実現に向け鋭意努力してまいります。また、国道一三九号線都留バイパスは、玉川から井倉の県道四日市場上野原線までの二・五キロメートルの区間について、すでに路線測量に入っており第二工区の早期着工を目指しています。

側道古川渡東柱線三橋整備計画については、昨年供用開始した城山大橋に続き、柄杓流橋の架橋も平成六年度完成を目指し着々と進行しています。また、懸案となっていました古川渡橋は、リニア関連として位置づける中で、県の施策として市町村道改良代行事業として架橋されることとなり、現在測量調査を行い用地買収に入っております。

この二橋が完成されますと昨年完成した桂川大橋の利用により西桂町と大月市に至る間が完全に国道のバイパスの役割を果たすことになり市民生活に大きな効果があるものと期待しています。本市の山地の占める割合は、八



▲ 山梨リニアモーターカー実験線建設工事(大平地内)

十五パーセントにおよんでいます。このため、この山地の有効利用を図るためサン地開発事業を推進し遊休地、荒地など調査し、自然との調和に配慮しつつ事業を推進してまいります。

本年は特に、山梨リニアモーターカー実験線工事から発生する残土を有効利用し田野倉地区に区画整理事業を導入してまいります。この他大幡兵海戸、桂町、井倉、盛里虹の宮等も造成し住宅団地を建設してまいります。